



役に立っていますか。嵐山町議会！

嵐山町議会議員選挙無投票から2年8ヵ月が過ぎました。町長選挙無投票から岩澤町政4期目が1年10ヵ月経過しました。

2018年の日本には大きな課題は3つあります。一つ目は、戦争法による憲法改正問題。2つ目は、2011年3月11日の東日本大震災による福島原発事故がなかったことにする国の政治、3つめは急激な人口減少と少子化です。

本の課題と同じで、嵐山町もたくさん
の問題があります。

- ①、財政困難を理由にすすめている稼ぐ事業への投資が未来に責任をもてるのか、
- ②、福祉や教育にお金をつかうべきなのに、稼ぐための町整備の公共事業は必要か、
- ③、子どもの生活の場を作っていくことを民間にまかせすぎてないか、こどもの幸せ感を、大人の評価でしていないか等です。

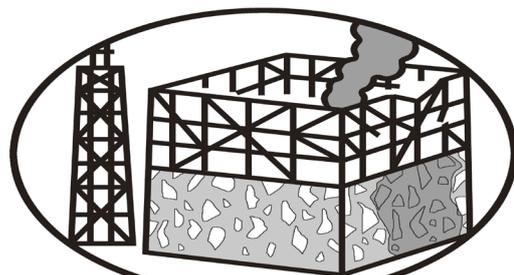
町の政策は、安倍政治の補助金政策で国の税金と町の税金と借金で行われます。嵐山町議会は、岩澤町政を応援する役目です。

議会基本条例を制定して7年。形は、議会報告会をして、議会改革を進めているように見えます。町民主役にするには、町長の政策の追認する会派政友会(会長長島邦夫・会計森一人・安藤欣男・青柳賢治・大野敏行・畠山みゆき・松本美子・吉場道雄・吉本秀二・佐久間孝光)が仕切る議会から、女性・若い世代の町民の声に耳を傾ける議会への脱皮が必要です....

2018年は、戦争のできる国になるかならないかの厳しい状況にあります。安倍9条改憲NO！3000万人署名を集めています。戦争への道を開かないために国会へ3000万人請願で！



73年前に敗北した第2次世界大戦は、なぜ始まったのか考えています。



原発

2011.3.11

原発事故の放射能汚染は、広がっています。
原発避難者への、生活保障が必要です。